

—— しなやかに、限りなく
MOTION & CONTROL ——

● は当社地域統括拠点

(株主通信) 第155期 中間報告書

平成27年(2015年)4月1日から
平成27年(2015年)9月30日まで

日本精工株式会社

目次 | CONTENTS

企業理念・経営姿勢／連結決算ハイライト	1
株主の皆様へ	2
セグメント別の概況	3-4
連結財務諸表(要旨)	5
連結業績の推移	6
新社長インタビュー	7-8
会社情報	9
株式情報	10

企業理念

NSKは、MOTION & CONTROLを通じ、円滑で安全な社会に貢献し、地球環境の保全をめざすとともに、グローバルな活動によって、国を越えた人と人の結びつきを強めます。

経営姿勢

- 1 世界をリードする技術力によって、顧客に積極的提案を行う。
- 2 社員一人ひとりの個性と可能性を尊重する。
- 3 柔軟で活力のある企業風土で時代を先取りする。
- 4 社員は地域に対する使命感をもとに行動する。
- 5 グローバル経営をめざす。

(NSK企業理念体系より)

● 中間配当について

当期の中間配当金は下記のとおりです。

1. 中間配当金 **1株につき17円**
2. 中間配当の効力発生日
並びに支払開始日 **平成27年12月1日(火)**

▶▶ 連結決算ハイライト

売上高

平成27年3月期
第2四半期
連結累計期間

4,644億円

前年同期比
+5.5%

平成28年3月期
第2四半期
連結累計期間

4,897
億円

営業利益

平成27年3月期
第2四半期
連結累計期間

407億円

前年同期比
+21.3%

平成28年3月期
第2四半期
連結累計期間

494
億円

経常利益

平成27年3月期
第2四半期
連結累計期間

409億円

前年同期比
+19.8%

平成28年3月期
第2四半期
連結累計期間

490
億円

親会社株主に帰属する四半期純利益

平成27年3月期
第2四半期
連結累計期間

259億円

前年同期比
+29.2%

平成28年3月期
第2四半期
連結累計期間

335
億円



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第155期中間報告書(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)をお届けいたしますので、ご高覧のほどお願い申し上げます。

なお、平成27年6月24日開催の第154期定時株主総会後に行われた取締役会において、私儀 内山俊弘は取締役代表執行役社長に就任し、新たな経営体制をスタートさせました。一層の発展に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、宜しく申し上げます。

取締役 代表執行役社長 内山俊弘

連結決算の概況

当社グループは、平成28年の創立100周年に向け、「売上高1兆円を支える企業基盤の確立」をビジョンとする3年間の中期経営計画に平成25年4月より取り組んでいます。事業戦略としては「収益重視の成長」、経営基盤の強化に向けては「1兆円の物量を回す管理能力の構築」を推進しています。

当第2四半期連結累計期間の世界経済を概観すると、日本経済は輸出や生産に弱さがみられるものの、原油安や各種政策効果もあり緩やかな回復基調が続きました。米国経済は個人消費を中心に堅調に推移しました。欧州では、ユーロ圏を中心に景気の持ち直し傾向が続きました。一方、中国は経済成長の鈍化が鮮明となり、アセアンでは総じて景気の足踏み状態が続きました。

このような経済環境下、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,897億円と前年同期に比べて5.5%の増収となり

ました。営業利益は494億円(前年同期比+21.3%)、経常利益は490億円(前年同期比+19.8%)となりました。税金費用、非支配株主利益等を控除した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は335億円と前年同期に比べて29.2%の増益となりました。

利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営方針の一つとしています。配当につきましては、安定的な配当を継続実施していくことを基本としつつ、連結ベースでの配当性向や業績水準等を勘案して決定したいと考えています。この基本方針のもと、当期の中間配当金につきましては、1株当たり17円で実施します。また、期末配当金については、1株当たり17円を予定しています。

セグメント別の概況

産業機械事業

売上高 **1,366** 億円
(前年同期比3.0% \uparrow)

営業利益 **175** 億円
(前年同期比20.8% \uparrow)

売上高

第2四半期連結累計期間 通期 (単位:億円)



営業利益

第2四半期連結累計期間 通期 (単位:億円)



産業機械事業
27.9%

売上高

第2四半期の概況

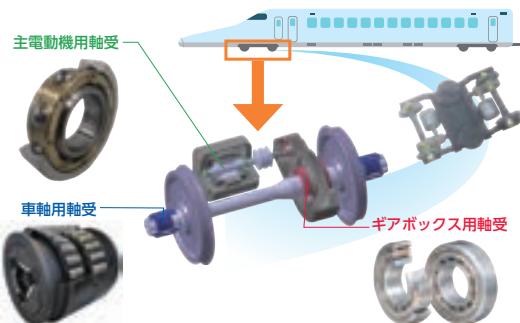
産業機械関連需要は、世界全体で緩やかな回復傾向が続きました。地域別にみると、日本では、工作機械向けを中心に増収となりました。米州は一般機械向けの売上高が増加しました。欧州においては、アフターマーケット向けの売上高が減少しました。中国では、家電向けは減少しましたが、工作機械や風力発電向けなどで増収となりました。その他アジアではアフターマーケット向けの売上高が増加しました。

この結果、産業機械事業の売上高は1,366億円(前年同期比+3.0%)、営業利益は175億円(前年同期比+20.8%)となりました。

中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化などにより、下期はより厳しい環境が見込まれますが、第4次中期経営計画最終年度として、事業体質の強化を図ります。

製品使用例

新幹線にNSKの製品が使われています



北海道新幹線にNSKの高機能軸受が採用

NSKでは、軸受メーカーとして唯一、1964年に新幹線0系の営業を開始して以来、全ての国内新幹線に軸受を提供してきました。2016年春に営業運転を開始する北海道新幹線の新型車両H5系にもNSKの高機能軸受が採用されます。使用環境の厳しい冬の北海道での安全、快適、高速走行に貢献していきます。

その他
2.9%

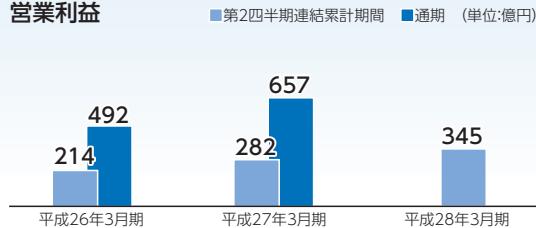
構成比

自動車事業
69.2%

売上高



営業利益



自動車事業

売上高 **3,390** 億円
(前年同期比8.7% )

営業利益 **345** 億円
(前年同期比22.4% )

■ 第2四半期の概況

自動車市場向け需要は、地域ごとにばらつきがありました。グローバルには緩やかな成長が続きました。日本では、軽自動車の販売不振もあり当社グループの売上高は減収となりました。米州は北米市場が堅調に推移し電動パワーステアリング(EPS)・自動車軸受ともに売上高が増加しました。欧州は自動車市場の緩やかな回復が続き増収となりました。中国では、自動車市場の減速により売上高の伸びが鈍化しました。その他アジアにおいては、各国の市場にばらつきがありました。EPSを中心に売上高が増加しました。

この結果、自動車事業の売上高は3,390億円(前年同期比+8.7%)、営業利益は345億円(前年同期比+22.4%)となりました。

地域毎に景況感と事業環境が異なる中、自動車販売・生産の動向を注視しながら、販売・生産・在庫の適正化を図り、収益にこだわった事業運営を引き続き進めていきます。

製品使用例

自動車に使われているNSK製品

電動パワーステアリング(EPS)の特長

● 環境への貢献

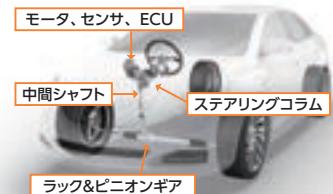
エンジンの力を利用して、油圧を発生させることでハンドル操舵力を補助する油圧式パワーステアリングは、ハンドル操舵の有無に関わらず油圧ポンプを駆動させてエンジンに負荷をかけています。一方、電動パワーステアリングではハンドル操舵時のみ、電力によってモータを駆動しドライバーのハンドル操舵力を補助する為、エンジンに負荷をかけていません。これにより、小型車で3~5%の燃費改善が出来ます。

コラムタイプ電動パワーステアリング

● 『自動運転』に適合

今後、実用化が期待される自動運転では車に取付けられたセンサが感知する様々な情報をECU*が処理し、ドライバーに代わって電動パワーステアリングが車の操舵を行います。

*ECU: Electronic Control Unitの略



四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	平成28年3月期 第2四半期 連結会計期間 (平成27年9月30日)	平成27年3月期 連結会計年度 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産	562,674	573,157
現金及び預金	75,408	76,089
受取手形及び売掛金	179,300	189,635
有価証券	111,094	106,141
棚卸資産	140,226	142,171
その他の流動資産	56,644	59,118
固定資産	538,422	556,007
有形固定資産	330,567	334,896
無形固定資産	11,775	11,791
投資その他の資産	196,079	209,319
資産合計	1,101,096	1,129,164
負債の部		
流動負債	315,845	339,436
支払手形及び買掛金	128,556	137,900
短期借入金	111,116	116,909
その他の流動負債	76,172	84,627
固定負債	297,128	307,867
社債	60,000	60,000
長期借入金	143,748	149,491
その他の固定負債	93,380	98,376
負債合計	612,974	647,304
純資産の部		
株主資本	419,179	394,699
資本金	67,176	67,176
資本剰余金	79,071	78,938
利益剰余金	276,912	252,667
自己株式	△ 3,981	△ 4,083
その他の包括利益累計額	45,159	61,347
その他有価証券評価差額金	37,206	44,438
為替換算調整勘定	△ 295	7,592
退職給付に係る調整累計額	8,249	9,316
新株予約権	311	252
非支配株主持分	23,472	25,560
純資産合計	488,122	481,859
負債純資産合計	1,101,096	1,129,164

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	平成28年3月期 第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日 ～平成27年9月30日)	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日 ～平成26年9月30日)
売上高	489,735	464,390
売上原価	375,079	360,544
売上総利益	114,656	103,846
販売費及び一般管理費	65,217	63,099
営業利益	49,438	40,746
営業外収益	5,321	4,697
営業外費用	5,737	4,516
経常利益	49,022	40,927
特別損失	—	3,025
税金等調整前四半期純利益	49,022	37,901
法人税等	13,919	10,679
四半期純利益	35,103	27,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,645	1,331
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,457	25,890

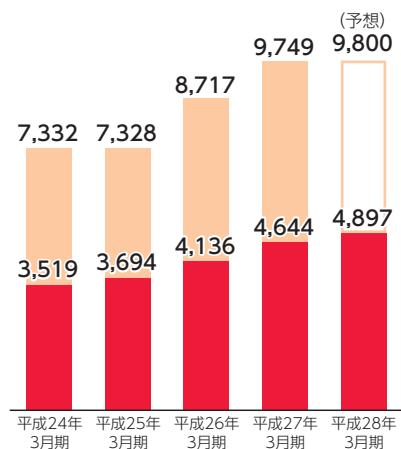
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	平成28年3月期 第2四半期 連結累計期間 (平成27年4月1日 ～平成27年9月30日)	平成27年3月期 第2四半期 連結累計期間 (平成26年4月1日 ～平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,359	18,358
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,425	△ 20,057
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 22,952	31,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 919	1,494
現金及び現金同等物の増減額 (△：減少)	9,062	31,266
現金及び現金同等物の期首残高	184,374	168,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	193,436	200,206

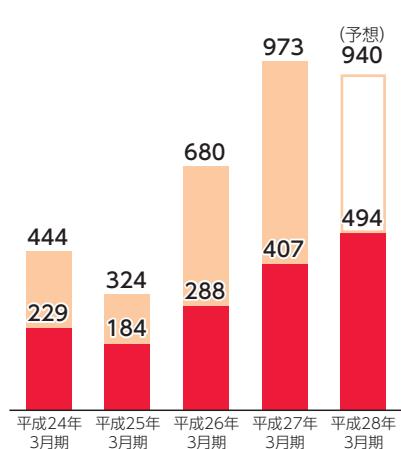
売上高

■第2四半期連結累計期間 ■通期 (単位:億円)



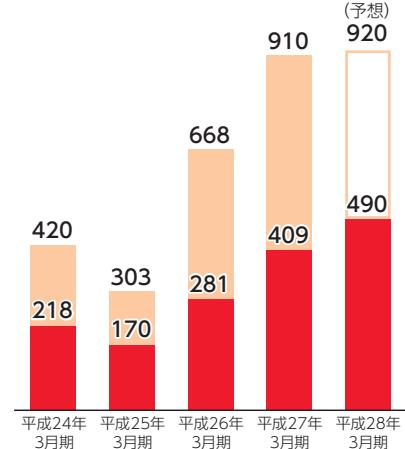
営業利益

■第2四半期連結累計期間 ■通期 (単位:億円)



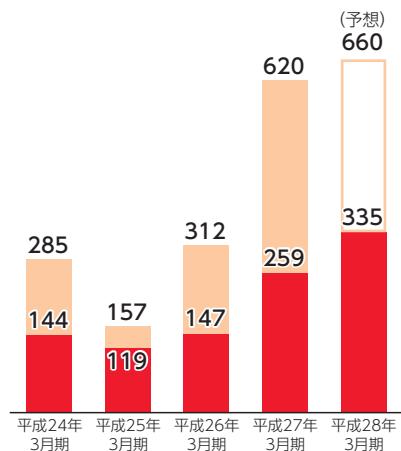
経常利益

■第2四半期連結累計期間 ■通期 (単位:億円)



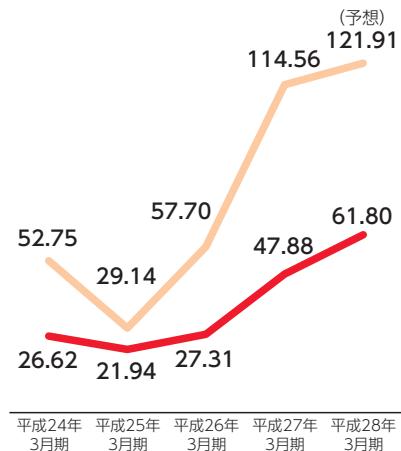
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■第2四半期連結累計期間 ■通期 (単位:億円)



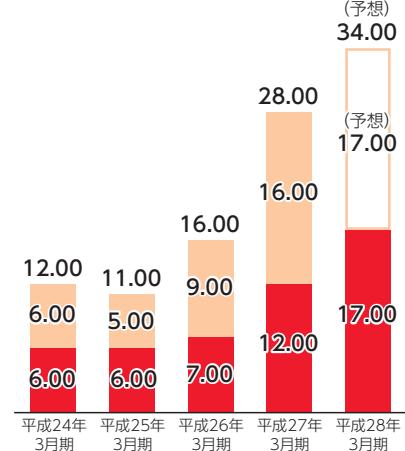
1株当たり四半期(当期)純利益

■第2四半期連結累計期間 ■通期 (単位:円)



1株当たり配当金

■中間 ■期末 (単位:円)



高品質なモノづくりにこだわる、 様々なステークホルダーを大切にする

内山社長 プロフィール

誕生日	昭和33年11月28日	趣味	音楽鑑賞、読書、坂を散歩すること
出身地	東京都	性格の自己評価	基本的に楽天的
健康法	水泳		



Q1 当社に入社したきっかけは？

学生の頃から好きだった洋画鑑賞を通じて海外の文化に興味を持ち、就職活動の際は、海外と関わりが深い会社を中心に訪問しました。当時は、日系企業の海外展開はまだ珍しく、早くから積極的に海外進出していた当社に魅力を感じて、入社を決めました。入社後は二度にわたり米国に駐在するなど、海外事業に深く携わってきました。

● 主な略歴

昭和56年4月 当社入社 海外本部配属
// 58年4月 国際大学留学(2年間)
平成元年10月 米国子会社へ出向、平成11年からも米国へ出向
// 7年9月 国内販売支社 課長
// 18年3月 調達本部 副本部長
// 20年6月 執行役、経営企画本部 副本部長
// 22年6月 執行役常務、経営企画本部長、IR・CSR室担当
// 24年6月 取締役 執行役常務、経営企画本部長、IR・CSR室担当
// 25年6月 取締役 代表執行役専務、コーポレート経営本部長
// 27年6月 取締役 代表執行役社長

Q2 これまでの仕事で印象に残っていることは？

米国に駐在していた平成5年末、それまで取引が少なかった欧州の有力自動車メーカーからSUV(スポーツ多目的車)向け軸受を受注したことです。誰もがこの受注は難しいと思っていましたが、この案件を是非とも獲得したいと思い、社内の説得にあたりました。米国、日本、ドイツの拠点で24時間体制で連携するかつてない“動き”で、そのホイール用軸受の設計をごく短納期で完成させました。米国での耐久テストの結果を盛り込んだプレゼンテーションは大変好評で、既に納入実績があり圧倒的に有利だった競合他社を逆転し、土壇場で受注することができました。

この経験から、難しい局面においても諦めずに工夫を重ねれば、成果につながることを学びました。現在、当社グループは、国内外のお取引先の開拓を続けており、グローバルにビジネスを拡大させています。今後も新たな市場や分野にも積極的に取り組んでいきます。

Q3 会社人生を振り返り、大切にしていることは？

人はどうしても解決しなくてはならない問題や困難に直面すると視野が狭くなりがちです。自分が煮詰まってしまった時、周囲から「そんなに思いつめる必要はない」と声を掛けてもらう中、「着眼大局、着手小局」の大切さに気付きました。大きな視点に立って、小さなことから着実に実践していくことの大切さを社員にも機会あるごとに伝えています。

Q4 社長としての抱負は？

一つ目は、次の100年に向けて、当社グループが今まで地道に取り組んできた高品質なモノづくりにこだわり続けること。また、株主様、お客様、お取引先、従業員を大切にすること。この二つを当社グループのDNAとしてしっかりと継承していきます。

二つ目は、現在の好業績に満足することなく、健全な危機感を持って事業の効率をダントツに高め、収益性のさらなる向上と安定的な成長を実現していきます。

三つ目は、お客様からのご期待に今後も応え続けていくのはもちろんのこと、自動車や家電製品、産業機械を実際に使う最終ユーザーの潜在的なニーズをも満たすような今までなかった新しい技術や製品、サービスによって、社会に貢献していきます。

Q5 株主様にひとことお願いします。

当社は、来年平成28年11月8日に創立100周年を迎えます。100年もの長きにわたり存続し続けることができたのは、株主様をはじめ、お客様、お取引先や地域社会などステークホルダーの方々のご支援によるものであり、心より御礼を申し上げます。

これからも、高品質な製品の提供を通じて、安全、安心、豊かな社会の実現に向け努めていきますので、ご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



大塚新会長から内山新社長について

内山社長は、国際経験が豊富で、営業から管理部門まで幅広い業務に精通しており、当社グループをグローバルに牽引するのに必要な求心力と決断力を備えています。また、会社を良くするため、妥協せず、スピード感を持って、最善を尽くします。明るく気さくな人柄で、多くの人から好かれる内山社長のリーダーシップのもとでの当社グループのさらなる発展にご期待下さい。

会社概要

会社名	日本精工株式会社 (NSK Ltd.)
本社	東京都品川区大崎一丁目6番3号
設立	大正5年(1916年)11月8日
資本金	671億円
従業員数	6,329名 (NSKグループ 31,162名)
主な事業内容	産業機械軸受、精密機器関連製品、 自動車軸受、自動車部品の製造及び販売



役員

取締役会長	大塚 紀男	社外取締役	池田 輝彦	執行役常務	鈴木 寛	執行役	入谷 百則
取締役(代表執行役社長)	内山 俊弘	執行役専務	荒牧 宏敏	執行役常務	宮崎 裕也	執行役	高山 優
取締役(代表執行役専務)	松原 正英	執行役常務	波田 安継	執行役常務	エイドリアン・ブラウ	執行役	伊集院誠司
取締役(代表執行役専務)	満江 直樹	執行役常務	後藤 伸夫	執行役常務	池田 新	執行役	三田村宣晶
取締役(代表執行役専務)	野上 宰門	執行役常務	杉本 直樹	執行役常務	小林 克視	執行役	山之内 敬
取締役(執行役専務)	鈴木 茂幸	執行役常務	神尾 泰宏	執行役	小木曾文雄	執行役	福田 和也
取締役(執行役常務)	新井 稔	執行役常務	井上 浩二	執行役	村田 一成	執行役	山名 賢一
取締役	市川 達夫	執行役常務	パーナード・リンゼイ	執行役	伊藤 裕之	執行役	市井 明俊
社外取締役	釜 和明	執行役常務	池村 幸雄	執行役	篠本 正美		
社外取締役	田井 一郎	執行役常務	中島 秀雄	執行役	織戸 宏昌		
社外取締役	古川 康信	執行役常務	麓 正忠	執行役	ユルゲン・アッカーマン		

NSKホームページの投資家情報サイトのご案内

» 投資家情報 <http://www.jp.nsk.com/investors/>

NSKは「投資家情報」サイトに社長メッセージや決算説明資料、財務・業績情報、株式情報などを掲載しています。また株主の皆様により深くNSKのことをご理解頂くために開示情報の内容充実に努めています。

主な内容

- ◎ 社長メッセージ
- ◎ 業績ハイライト
- ◎ 株主総会
- ◎ 個人投資家の皆様へ
- ◎ よくあるご質問
- ◎ セグメント情報
- ◎ 株式・格付情報
- ◎ IRイベント、IR資料集
- ◎ 電子公告
- ◎ IRに関するお問い合わせ



株式の状況

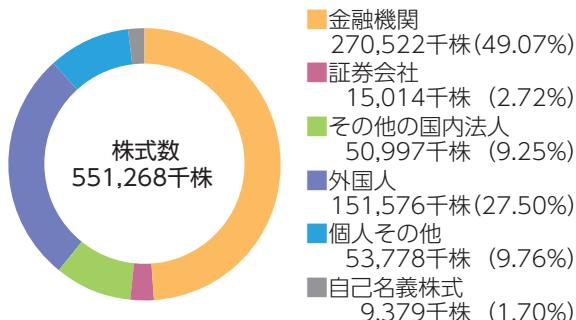
発行可能株式総数	1,700,000,000株
発行済株式総数	551,268,104株
株主数	26,517名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	51,312	9.46
富国生命保険相互会社	27,600	5.09
日本生命保険相互会社	27,518	5.07
明治安田生命保険相互会社	26,726	4.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,731	3.45
株式会社みずほ銀行	18,211	3.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	10,709	1.97
トヨタ自動車株式会社	10,000	1.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	8,675	1.60
日本精工取引先持株会	7,116	1.31

(注) 持株比率は、自己株式(9,379千株)を控除して計算しています。

所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度** 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会** 6月
- 配当の基準日** 期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人** 〒103-8670
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 特別口座の
口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先
電話お問い合わせ先** 〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話センター 0120-288-324
(フリーダイヤル)
- 同取次所** みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
- 公告方法** 電子公告にて行います。
<http://www.jp.nsk.com/>
但し、事故その他やむを得ない事由
によって電子公告をすることができ
ない場合は、東京都において発行す
る日本経済新聞に掲載する方法によ
り行います。
- 住所変更等については、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行にお申出ください。
 - 未受領の配当金については、みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店でお支払いします。

株 主 様 へ の お 知 ら せ

配当金の口座振込をご存知ですか？

郵便局の窓口でのお受け取りの場合

- ◎ 受け取り忘れのリスクがあります。
- ◎ 郵便局に向く手間がかかります。



口座振込のお手続を済ませますと…

ご指定の口座に振り込まれるため、
確実にお受け取りいただけます。

■ お手続きに関するご質問

- 1 証券会社に口座をお持ちの場合、
お取引の証券会社へ
- 2 証券会社に口座をお持ちでない場合、
みずほ信託銀行(株)へ
(特別口座へ記録されている場合)

お問い合わせください。

	1 証券会社に口座をお持ちの場合	2 証券会社に口座をお持ちでない場合
お問い合わせ先	お取引の証券会社になります。	(連絡先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (電話) 0120-288-324(フリーダイヤル) (お取扱店) みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店



日本精工株式会社
ホームページアドレス
http://www.jp.nsk.com/

